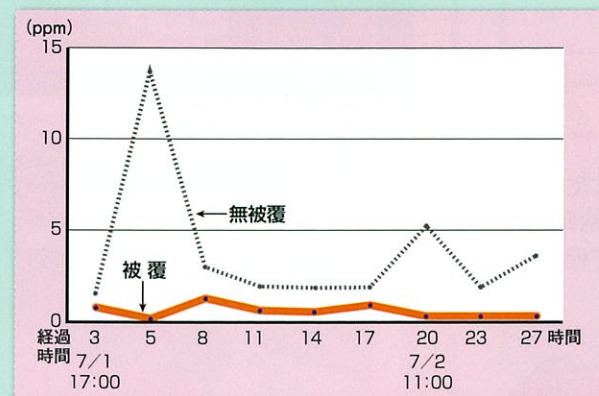


# 安全性と効きめを高めるためのシートによる被覆の効果

## 効果1

### 環境に対する安全性を高めます。

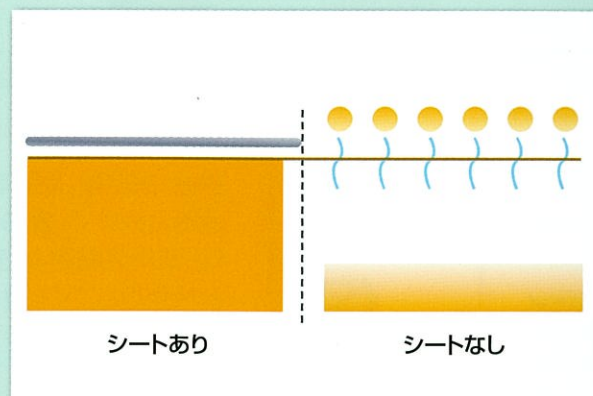
無被覆に比べて、被覆した場合の地表面ガス濃度は非常に低い状態を保っています。



## 効果2

### 防除効果を高めます。

無被覆の場合、表層部のガスが揮散し、効果不足を起こします。



## 応急処置

### 1. 眼に入った場合

直ちに多量の水で15分以上洗眼し、速やかに医師の手当てを受けてください。洗眼の際は、まぶたの隅々まで水がいきわたるようにしてください。

### 2. 皮膚に付着した場合

直ちに付着または接触部を多量の水や石けん水で十分洗い流してください。汚染された衣服や靴は速やかに脱がせ、医師の手当てを受けてください。

### 3. 吸入した場合

直ちに患者を毛布にくるんで安静にさせ、新鮮な空気のある場所に移し、速やかに医師の手当てを受けてください。呼吸が停止しているときは直ちに人工呼吸を行ってください。呼吸困難な時は酸素吸入を行ってください。

●使用前にはラベルをよく読んでください。●ラベルの記載以外には使用しないでください。

●人家、畜舎、鶏舎周辺での使用に当たっては、ガスによる危害の発生防止に十分配慮してください。●保管するときは、鍵のかかる冷暗所に保管してください。

クロルピクリン工業会

TEL: 03-3553-7050

南海化学株式会社

TEL: 06-6532-5590

日本化薬株式会社

TEL: 03-6731-5321

三井化学アグロ株式会社 ナビダイヤル ☎ 0570-077557

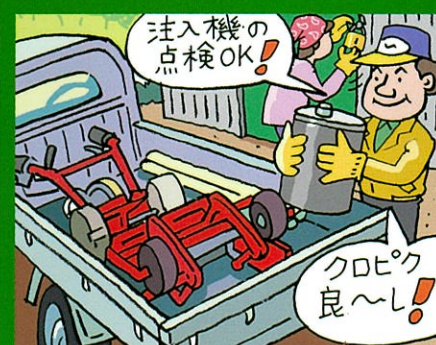
2017.4

土壌病害・土壌害虫・線虫・一年生雑草に

# クロルピクリン液剤の使い方



## クロピク劇場



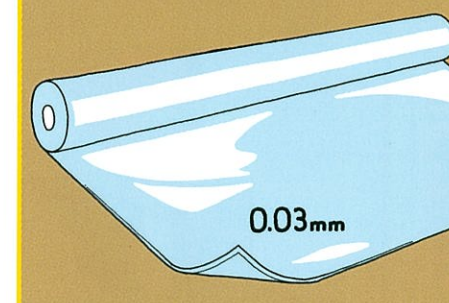
## 消毒前の準備

クロルピクリンの注入には、防護マスクや保護メガネ、被覆シートが必要です。さらに作業前には、土壌の水分状態を点検しておきましょう。



- マスク(吸収缶付きの防護マスク)
- メガネ(ゴーグル型の保護メガネ)

人家・畜舎・鶏舎周辺では、厚めのシート(0.03mm以上)を使用



- 畑(軽く握って割れ目ができる程度が、適正な水分状態)

※消石灰を施肥した場合は、10日以上おいてからクロルピクリンを注入してください。

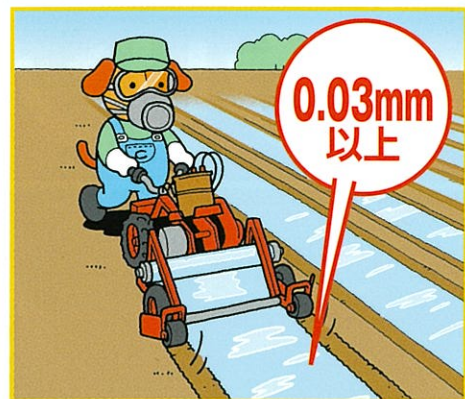
クロルピクリン工業会

# 注入・被覆

注入・被覆は、適切な保護具を着けて作業してください。

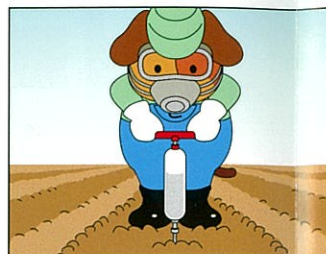


- 防護マスク、保護メガネ、不浸透性手袋、ゴム長靴、不浸透性防除衣を着用
- 注入は午前中か夕方方の気温が低い時間に
- 風下から風上に向かって作業
- 人家や畜舎が風下にあるときは、作業を中断



注入したら、すぐにポリエチレンシートなどで地表面を被覆してください。  
(人家・畜舎・鶏舎付近では0.03mm以上の厚いものを使用)

## ◆クロルピクリンの処理技術—— クロルピクリンの注入には専用の注入機が必要です。



### 〈 手動式注入機 〉

圃場の隅、ハウス支柱のすき間など、他の機械では無理な場所の消毒に適しています。処理後、速やかにシート被覆を行ってください。



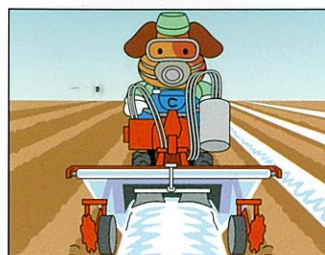
### 〈 テーラーけん引式 土壤消毒器 〉

管理機や耕耘機に連結して使います。小型で小回りがきき、手軽に作業ができます。処理後、速やかにシート被覆を行ってください。



### 〈 全面マルチ 土壤消毒法 〉

注入と同時に自動的にシート被覆を行いますので、省力的で安全性の高い方法です。



### 〈 マルチ陸内 同時処理 〉

注入と同時に自動的にシート被覆を行いますので、省力的で安全性の高い方法です。

# 被覆除去

被覆除去も、適切な保護具を着けて作業してください。



下表を目安に一定期間、被覆を行なってください。(土壌の種類・水分によって、ガス消失までの日数は変わります。)

● 標準的なくん蒸期間

平均地温	くん蒸期間
25~30℃	約10日
15~25℃	10~15日
10~15℃	15~20日
7~10℃	20~30日

# 定植・播種

土中にクロルピクリンの刺激臭がないことを、確かめてから植え付けてください。



# 保管

誤飲、誤使用、盗難等を防ぐため、食品等と分けて、鍵のかかる冷暗所に「医薬用外劇物」と表示して保管し、台帳管理してください。



# 空き缶の処理

缶やボトルの底や側壁面にわずかに残った液は下記の手順で処理し、空き缶、空きボトルは完全に臭気を抜いてください。



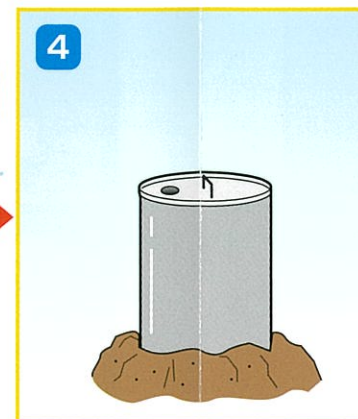
1 周囲に影響を及ぼさない場所に、小さな窪みを作り、缶の口栓をはずし、窪みの中に収まるよう缶をひっくり返し、倒立させます。



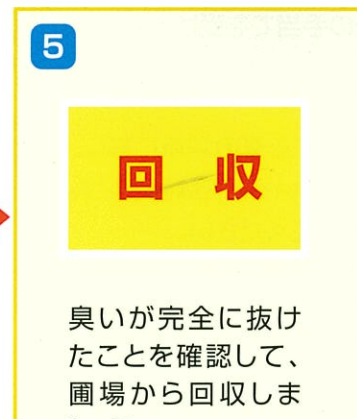
2 缶が倒れないよう、土寄せをしてください。この時、缶の中の残液が出やすくなるよう、傾かないように立ててください。



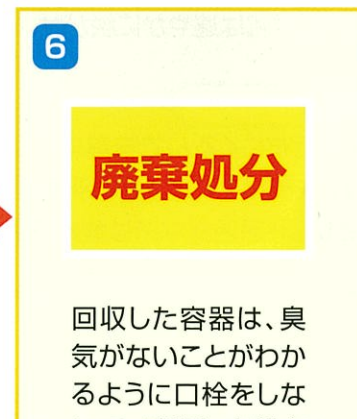
3 そのまま缶を倒立させておくと、中の臭気は徐々に抜けていきます。



4 1か月後、缶を再度ひっくり返して上向きにし、臭気を確認します。臭いが残っていればそのままさらに静置し、完全に臭いがなくなるのを待ちます。



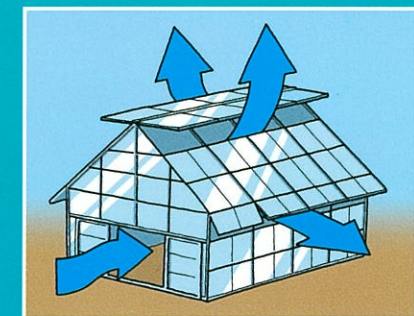
5 臭いが完全に抜けたことを確認して、圃場から回収しましょう。



6 回収した容器は、臭気がないことがわかるように口栓をしないで、適切に産業廃棄物として処分してください。

## ◆ハウスでの使い方——

ハウス内での消毒はガスが滞留しやすいため、開口部を開け放したまま注入作業を行ってください。作業後はガスがハウスの外に漏れないようにすべての開口部を閉鎖し、立ち入り禁止の表示をしてください。作業の手順は露地と同じです。



1 開口部を開け放して注入作業を開始します。



2 くん蒸中はすべての開口部を閉鎖し、立ち入り禁止の表示を行います(すき間や破れ目があれば目張りしてください)。

3 ガスの濃度が十分に下がったことを確認してから、植え付けを行います。

